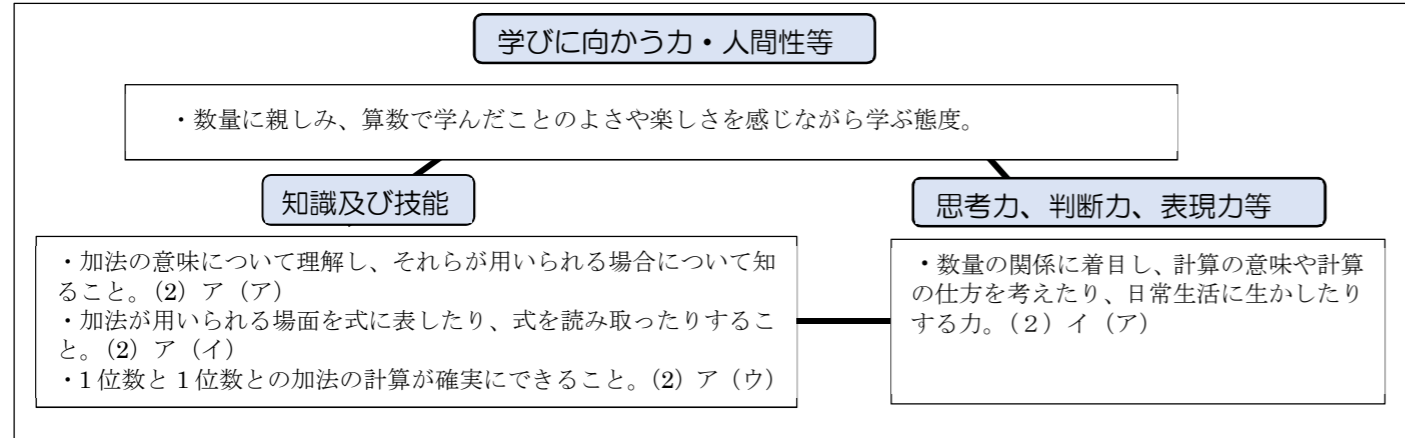


# 第1・2学年 算数科学習指導案

## 第1学年 A数と計算 単元名「たしざん」

### 1.本単元の目標

加法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。



### 児童の実態と指導観

本学級の児童は、意欲的に学習に取り組むことができる。具体物を操作しながらよくわかるように説明できる児童もいるが、その反面、問題の意味を理解するのに時間がかかる児童もいる。「なかまづくり」の学習から絵の上にブロックを置き1対1の対応の仕方を何回も繰り返し練習してきた。加法の学習では、問題の場面を絵やブロックで表すのが苦手な児童もいて、個人差が大きい。文章題では、分かっていることや問われていることを見つけることはできるが、加法になる問題場面を把握して立式することが苦手な児童もいるため、加法になる言葉を見つけ印をつける練習を繰り返してきた。

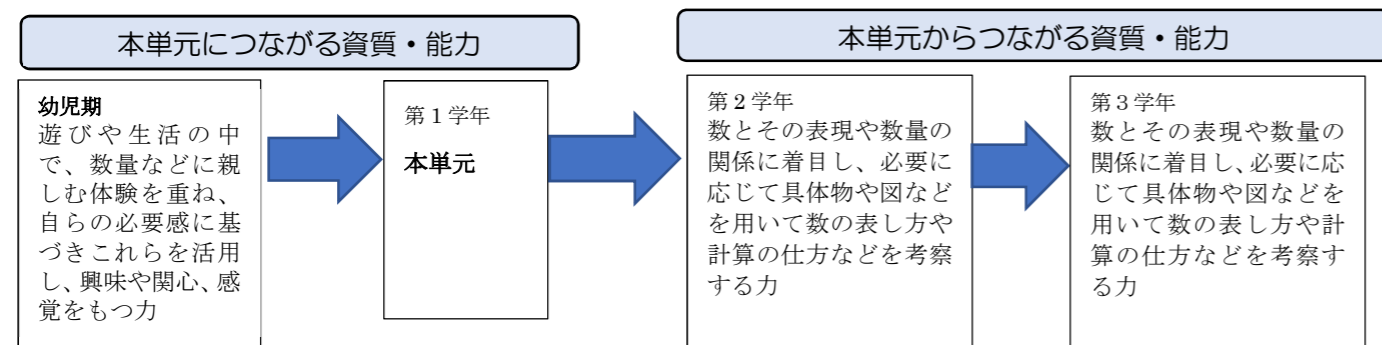
レディネステストでは、数を分解する問題に弱さが見られる児童がいた。そこで、10に対する補数のカードやプリントで練習を繰り返すと共に、毎日の家庭学習の中でも計算カードを使って練習をしている。

本単元では、10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を理解し、その計算の仕方を操作や図を用いて考える力を育てる。それぞれの児童が、自分は被加数と加数のどちらを分け、どのようにブロックを移して「10のまとまり」といくつにして足したのかを順序よく説明できるようにする。そして、被加数と加数のどちらを分解して「10のまとまり」を作っても構わないが、小さい数の方を分解して計算する方がはやくできることに気づかせたい。さらに、日常生活の中でも数量の関係に着目し、加法を積極的に活用する態度を養いたい。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①数を、十を単位としてみるができる。 ②加法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知っている。加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。	①数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりしている。	①数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

### 3. 資質・能力の系統性

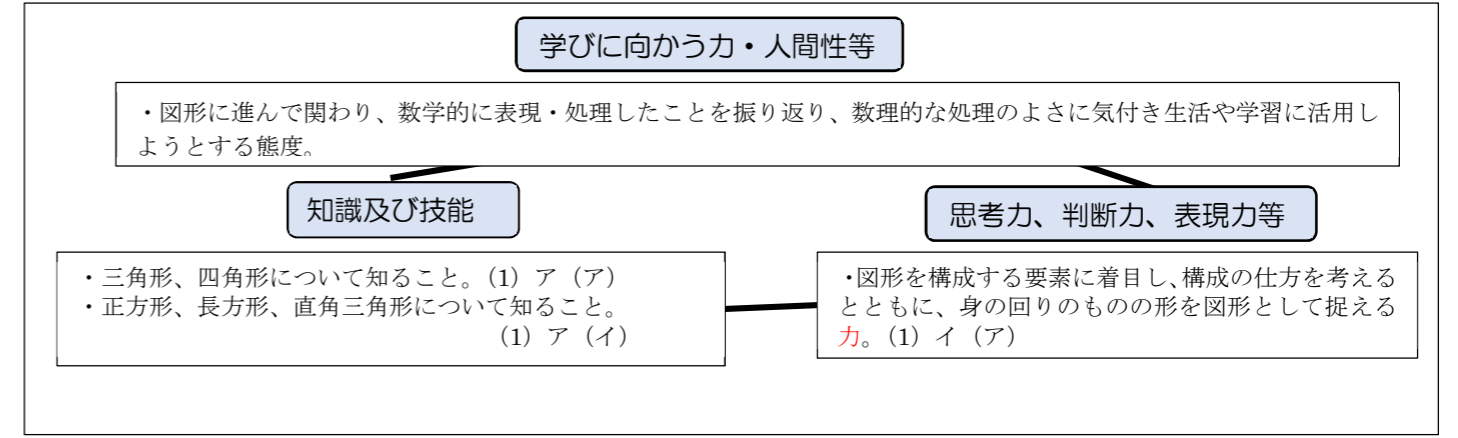


【令和2年10月28日(水)第6校時 四万十市立蕨岡小学校 1年4名2年1名 計5名 授業者：舛市 富美】

## 第2学年 B図形 単元名「さんかくやしかくの形をしらべよう」

### 1.本単元の目標

図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身につけることができるようにする。



### 児童の実態と指導観

本学級の児童は、既習の学習をもとに見通しを立て自分の力で課題を解決しようといつも努力している。とも学びの時には、教師とやり取りするだけでなく、自分が調べたことを1年生にも分かりやすいように工夫して伝えることもできるようになってきた。

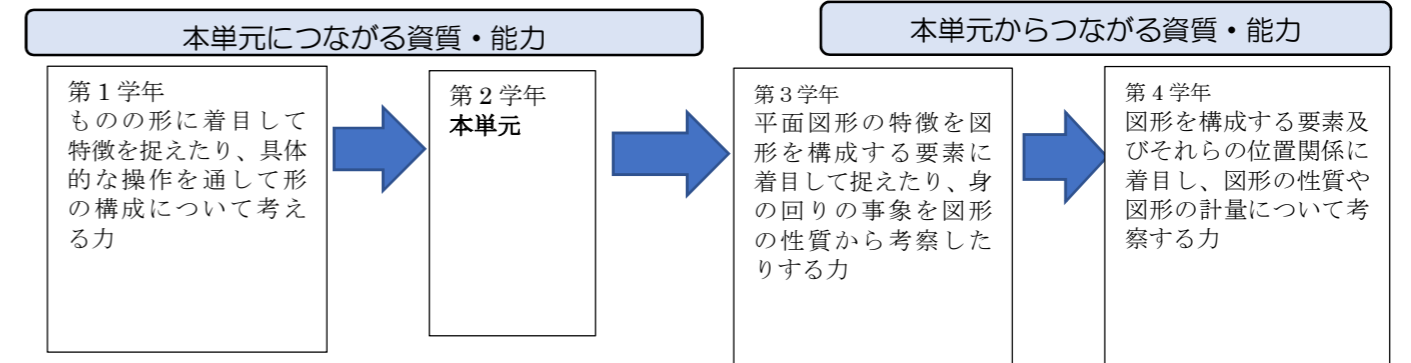
レディネステストでは、100%の正答率だった。簡単な図形を三角形や四角形に分ける問題や小さい三角形を4枚使ってできる形も見つけることができた。しかし、図形を移動させた問題には、弱さが見られた。そこで、パズルで同じ長さの辺に印をつけどこにその図形が動いたか見つける問題や、同じ大きさの角に着目させ、移動した形を見つける練習を繰り返してきた。

本単元では、辺、頂点、角に着目させ調べることを通して、三角形には3本の直線と3つの頂点があること、四角形には4本の直線と4つの頂点があることを確かめさせる。その後で、かどの形に着目させ身の回りで同じ形の所を見つける学習をする。長方形と正方形ではどの角も直角であることは同じだが、正方形は4つの辺の長さがどれも同じであることを、辺を重ね合わせる操作を通して理解させる。そして、三角形の中にも直角三角形があることに気づかせそれは、長方形や正方形を2つに折って切ればできることを実際に体験させることで確かめさせる。今回の学習をきっかけにして、これからも身の回りにある形に関心を持ち、学習したことを今後の生活や学習に活用する態度を養いたい。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①正方形、長方形、直角三角形について知っている。 ②正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。	①図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えているとともに、身の回りのものの形を図形として捉えている。	①図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。

### 3. 資質・能力の系統性



#### 4. 研究主題に関わって

【研究主題との関わり】

○ひとり学びで、自分の考えを書き、とも学びでお互いの考え方を聞き合うことで理解を深めていく。

【キャリア教育との関連】

○自分の考えを自分の言葉で伝えたり、友だちの考えを聞いたりすることを通して「かかわる力」(人間形成能力)をつけたい。

#### 5. 単元計画

単元で働かせる  
見方考え方

時	○指導のねらい ★本時で働かせる見方・考え方	評価規準 (評価方法)		
		知技	思判表	態度
1	○1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加法を分解して計算する方法 (加数分解) を理解する。	◎知① (ノート分析)		○態① (行動観察、ノート分析)
2	★「10 といくつ」という数の見方に着目し、1 位数どうしの加法計算の仕方を考える。			
3	○加法計算で、加法を分解して計算する方法の理解を確実にする。	◎知② (ノート分析)		
4	★被加数が 8 と 7 の場合の計算の仕方を考える ★被加数が 9~6 の場合の計算の仕方を考える。			
5 本時	○1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、被加数を分解して計算する方法があることを知り、計算の仕方について理解を深める。		◎思① (行動観察、ノート分析)	
6	★3+9 の計算の仕方を考える。 ★被加数を分解しても、10 のまとまりをつくれることをまとめる。 ★自分が計算しやすい方法で考える。 ★文章題を解決する。			
7	○加法の計算能力を伸ばす。	◎知② (ノート分析)	○思① (行動観察、ノート分析)	
8	★計算カードを用いたいろいろな活動を通して繰り上がりのある 1 位数どうしの加法計算をする。			
9	★学習したことを振り返りながら問題を解決する。			
10	○学習内容の定着と習熟を確認し、理解を確実にする。	◎知② (ノート分析)		○態① (行動観察)
	★学習したことを振り返りながら、問題を解決する。			

数量の関係に着目し、1 位数どうしの加法について、10 のまとまりをつくらせて計算の意味や計算の仕方を考察する。

本単元終了時に目指す児童の姿

- ・1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方について理解し、それを用いることができる。
- ・「10 といくつ」という数の見方や計算の意味に着目し新たな数範囲の計算の方法について日常生活に生かすことができる。

#### 4. 研究主題に関わって

【研究主題との関わり】

○ひとり学びで自分の考えを書き、とも学びで自分の考えを説明し教師とやりとりすることで理解を深めていく。

【キャリア教育との関連】

○既習の学習を使ったり、ノートの前のページを開いたりしながら自分の力で最後まで頑張る「やりぬく力」(課題対応能力)をつけたい。

#### 5. 単元計画

単元で働かせる  
見方考え方


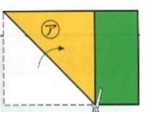
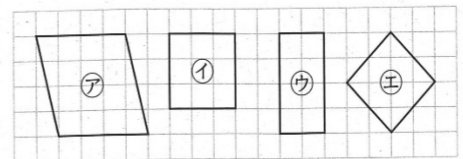
時	○指導のねらい ★本時で働かせる見方・考え方	評価規準 (評価方法)		
		知技	思判表	態度
1	○三角形、四角形の意味や性質を理解する。			○態① (行動観察、ノート分析)
2	★辺や頂点の数に着目して図形の分類の仕方を考える。			
2	○三角形、四角形の意味や性質を理解する。	◎知① (ノート分析)		
3	★辺や頂点の数に着目して、三角形や四角形の分類の仕方を考える。			
3	○三角形や四角形を弁別する方法を理解する。			
4	★図形を弁別する活動などを通して三角形、四角形について考える。			
4	○操作を通して、平角を 2 等分した形が「直角」になることを理解する。	◎知③ (ノート分析)	◎思① (行動観察 ノート分析)	
5	★平角をどんなに切れば「直角」になるか考える。			
5	○長方形の意味や性質を理解する。			
6	★長方形を構成要素に着目して見ることを通して、長方形の意味や性質について考える。			
6 本時	○正方形の意味や性質を理解する。	◎知② (ノート分析)		
7	★正方形を構成要素に着目して見ることを通して、正方形の意味や性質について考える。			
7	○直角三角形は、1 つのかどが直角になっている三角形であることを説明することができる。		○思① (行動観察 ノート分析)	
8	★長方形、正方形を対角線で分割してできた三角形を、構成要素に着目して考える。			
8	○それぞれの図形を方眼に作成する。	○知③ (ノート分析)		
9	★それぞれの図形の性質に着目して作成の仕方を考える。			
9	○事象を論理的に解決する。			◎態① (ノート分析)
10	○数学的な見方考え方を振り返り価値づける。			

図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方について考察する。

本単元終了時に目指す児童の姿

- ・図形の構成要素に着目し、図形の意味や性質について考えることができる。
- ・図形を構成する要素に着目し、身の回りのある物を図形としてとらえ、日常生活に生かそうとする。

6. 本時の学習

(1) 目標 被加数、加数の大小に関係なく、10のまとまりをつくることに着目して計算の仕方を考え、操作や図によって説明することができる。 【本時で働かせる見方考え方】「10といくつ」という数の見方に着目し、被加数または加数を分けてたして答えを求める。		(1) 目標 正方形は、4つのかどが直角で、4辺の長さが等しいことを理解する。 【本時で働かせる見方考え方】かどの形や辺の長さに着目して、四角形の特徴を調べる。	
(2) 展開		(2) 展開	
○指導上の留意点 ☆支援 【評価規準】	学 習 活 動	学 習 活 動	○指導上の留意点 ☆支援 【評価規準】
○児童が興味関心を持つように、教師の話や教材の見せ方を工夫する。  ☆操作して答えが求められる模型を用意しておく。 ○学習リーダーを中心に話し合わせる。 ○前時の学習との違いに気づかせる。 ○既習の学習を使えないか考えさせる。	1. 問題把握 たまごは あわせて なんこですか。  2. 見通し (答えを求める方法を話し合う。) ・ひだりのパックに3こ ・みぎのパックに9こ ・しき $3+9$ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ちが</span> うしろのかずのほうが大きい ・こたえ 12こ ・10よりおおい ・10のまとまりをつくる。(まへのやりかたがつかえる。) ・3をわける。 	(間接) (直接)  1. 問題把握 長方形の紙からおり紙の形を作ります。この四角形の形をしらべましょう。  2. 見通し ・おり紙の形を作る。 ・作った四角形のかどの形をしらべる。 ・へんの長さをしらべる。 ・三角じょうぎ ・おってかさねる。  3. めあてをつかむ おり紙の形は、どんなとくちょうがあるかしらべよう。	○児童が問題に関心を持つように、折り紙で児童が折ったメダルを提示する。 ☆長方形の紙を渡し、おり紙の形を作るように指示する。作り方が分からない場合は、裏向けにしているヒントカードを見て作らるように伝えておく。   ○調べる方法(三角定規、折り曲げる)を確認する。 ○かどの形や辺の長さに着目させ調べさせるようにする。
○どんな計算の仕方が良いのか考えさせる。	3. めあてをつかむ 3+9のけいさんのしかたをせつめいしよう。	4. ひとり学び ・4つのかどの形を三角定規で調べる。 ・4つの辺の長さを調べる。 ・図形に印をつけ分かったことをノートに書いて、発表の準備をする。	○調べたことが分かりやすく説明できるように、図形に印をつけたり、言葉で書かせたりさせる ○算数用語を使って説明ができるようにする。
☆支援が必要な児童がいれば、ヒントカードを渡して、考えさせる。 ○説明の手順を書いた紙を提示しておく。  ○自分の考えを操作や図によって説明できるように練習させておく。	4. ひとり学び ・自分がやりやすい方法でする。 ・考えをノートに書く。 ・発表の準備をする。 ・ともだちと説明の練習をする。	5. とも学び ・調べたことを発表する。  6. 「正方形」という言葉と意味について知る。 7. まとめ おり紙の形は、4つのかどが直角で4つの辺の長さが同じ四角形だった。この形を正方形という。	○どこをどのようにして調べたか分かるように、説明させる。 ⑦やりぬく力 ○「正方形」の用語を教える。 ○児童が言った言葉を使ってまとめるようにする。 【知技】正方形は、4つのかどが直角で、4辺の長さが等しい四角形であることを理解している。
【思判表】被加数、加数の大小に関係なく10のまとまりをつくることに着目して計算の仕方考え、操作や図によって説明している。 ⑦かかわる力  ○児童の言った言葉を使ってまとめるようにする。	5. とも学び ・考えを発表し合う。(書画カメラ)  6. まとめ 10のまとまりをつくる。9を10にしたほうがはやくけいさんできる。	8. 適用問題 ・教科書P111の4の問題を解く。(方眼の上に置かれた正方形を見つける。)  4 正方形はどれですか。 	○図形の置かれた位置に関係なく正方形の意味や性質を見い出す問題をさせる。
○問題を提示し、答えをリーダーに渡して自分たちで答え合わせをさせるようにする。	7. 適用問題 ① $4+8$ ② $5+9$	9. 振り返り ・長方形や正方形の学習をして気づいたこと。 ・これまでの形の学習を振り返って、もっと調べてみたいこと。(ノート)	○1年生と時間が合えば発表し合う。
○2年生と時間が合えば発表し合う。	8. 振り返り ・うしろのかずが大きいても10のまとまりをつくれればいいんだな。 ・小さいかずをわけるとはやくできることが分かった。		
(3) 準備物 卵の模型、書画カメラ、大型テレビ、教科書の拡大図、ブロック(児童用・教師用)、ヒントカード		(3) 準備物 色画用紙、折り紙、ホワイトボード、三角定規、ハサミ(児童用・教師用)	

(4) 板書計画 1年

も たまごは あわせて なんこですか。

10のまとまりをつくる。

- 見
- ・ひだりのパックに3こ
  - ・みぎのパックに9こ
  - ・あわせてなんこ
  - ・しき  $3+9$
  - ・ちがいうしろのかずのほうが大きい
  - ・こたえ 12こ
  - ・10よりおおい
  - ・10のまとまりをつくる。(まえのやりかたがつかえる)
  - ・3をわける。



め  $3+9$  のけいさんのしかたをせつめいしよう。

- ひ
- と
- ① 9はあと1で10。  $3+9=12$
  - ② 3を1と2にわける。  $1 \quad 2$
  - ③ 9に1をたして10。  $3+9=12$
  - ④ 2と10で12。  $7 \quad 2$

ま 10のまとまりをつくる。9を10にしたほうが、はやくけいさんできる。

- れ
- ①  $4+8$
  - ②  $5+9$

ふ

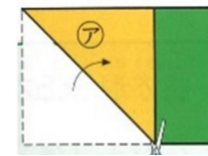
(4) 板書計画 2年

も 長方形の紙からおり紙の形を作ります。この四角形の形をしらべましょう。

め おり紙の形は、どんなとくちょうがあるかしらべよう。



- 見
- ・おり紙の形を作る。
  - ・作った四角形のかどの形をしらべる。
  - ・へんの長さをしらべる。
  - ・三角じょうぎ
  - ・おってかさねる。



(ヒントカード)

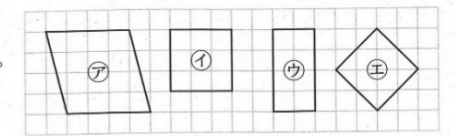
かどの形・へんの長さ

- ひ
- と
- かどはぜんぶ直角
  - 4つの辺の長さが同じ

ま おり紙の形は、4つのかどが直角で4つの辺の長さが同じ四角形だった。この形を正方形という。

れ

4 正方形はどれですか。



ふ